受付番号 360 グループ名称 上毛(かみつけ)の会

様式3

事務局体制の確認

755 T.L.	市政 巳 仕 剝 へ 随 罰
選択	事務局体制の確認
	グループ内に専任の担当者はいない
	グループ内に専任の担当者を配置している
選択	事務局の業務委託の確認
	グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
	外部の業者に <mark>部分的に</mark> 業務委託をしている
	外部の業者に <mark>全ての</mark> 業務を委託している
業者名	
	事務局の同一担当者が複数のグループを担当している
選択	グループのサポート体制
	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
	施工に関するサポートが出来る体制になっている
	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
	その他、グループ特有のサポート体制がある
内容	
選択	グループ内の情報共有の方法
-	グループ内で事業説明会を実施する
	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
_	メール・メーリングリストを使った情報発信
	ホームページ等Webを使った情報共有・発信(会員専用ページなど)
	TEL・FAXを使った情報共有・発信
	その他
内容	C 97 12
選択	所属工務店の廃業等があった際の対応
	####################################
	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
	グループ事務局にて維持管理を代行
	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
	グループ事務局として対応しない
	その他
内容	
<u> 域型住宅</u>	<u>の仕様、品質に関する取組みについて</u>
選択	主要構造部における地域材の推奨割合
	50%未満
	5 0 %以上
	80%以上
選択	グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組
	設計性能評価書を取得している
	建設性能評価書を取得している
	耐震等級3を取得している
	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
	ZEHに取り組んでいる
	BELSに取り組んでいる
	低炭素住宅の認定を取得している
	その他
	耐震等級3に取組んでいる

受付番号	360 グループ名称 上毛(かみつけ)の会							
選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み							
	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)							
	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある							
	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある							
	使用する地域材の在庫把握の什組み							
	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有							
	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行							
	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)							
	元成体証・心盗袖頂寺の台往休険のがり(状処追休負任休険は称く) その他							
	CONE							
	 の維持管理に関する取組みについて							
選択	住宅履歴情報の管理・活用について							
	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う							
	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)							
	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う							
	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する							
	その他							
内容								
選択	維持管理の実施に関する取組みについて							
	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う							
	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う							
	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施							
	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ							
	その他							
内容								
選択	グループ事務局での維持管理の対応について							
	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理・点検を行う							
	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する							
	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない							
グループで	実施する研修、サポート体制に関する取組みについて							
選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について							
•	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会							
•	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会							
	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会							
	地域型住宅の維持管理に関連した研修会							
	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加							
	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加							
•	改正省エネルギーに関連した研修会							
	顧客提案等の営業手法等に関する研修会							
	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)							
	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会							
	事業者向け現場見学会							
	その他							
内容								
選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合							
	未経験工務店は所属していない							
	未経験工務店の所属が1/3未満							
	未経験工務店が1/3以上							

様式3

受付	番号	360	グループ名称	上毛(かみつけ)の会					
	選択		グループの未経	験工務店に対するサポート体制					
	■ 未経験工務店への優先サポートの実施								
 □ 地域型住宅の補助活用マニュアル(手順書)の用意									
· į		各種認定取得	サービスの活用提案						
		施工管理・旅	正検査のサポート						
		営業支援	(提案書作成・営業同行)						
			る交付申請書類作成支持						
,		事務局によ	る実績報告書類作成支持	爰					
,		特にサポー	-トは行っていない						
		その他							
	内容								
地域		の地域社会と	の連携や継承についての	_					
	選択			地域社会との連携・継承等について					
i		0 177 1 1217	的なデザインの継承を調						
i	-	,	がみの継承を意識して対応						
i	-		い方の継承を意識して						
j			Eに和の住まいの要素をE	取り入れた対応を行う					
<u>災</u> 暑		の対応につい							
	選択			時・発生後の対応について					
,		13 11.2 11	Rめしていることは無い 						
·	_	取組みを行							
		フライン確保	に向け行政と協力出来る	体制づくりを検討する(県住宅課との連携強化)、県内全					

様式3

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

■ 情報提供を受る

グループの取組み等PRポイントについて

360

「抜群の性能×群馬の木=健康で安心して暮らせる家」をテーマとした住宅を提案致します。具体 的には1、お施主様の「快適な暮 らし」を最大の目的とし、その為の住宅性能の数値を明確にす る。UA値目標は0.5以下、C値目標は1.0以下、一次エネルギー消費 等級4を標準、気密測定全棟 実施。2、お施主様の「安心、安全な暮らし」を最大の目的とし、その為の住宅性能の数値を明確 にする。耐震等級目標3、耐風等級2、維持管理3相当の設計を実施。3、「ぐんま優良木材品質認 証センター」の認証を受けた群馬 県産材か合法木材を主要構造材として50%以上使用し地域性を 考慮した家づくりを行う。4、国の補助事業、群馬県の補助事業を 提案し、家づくりを応援致しま

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

住宅性能の数値を明確(UA値目標は0.5以下、C値目標は1.0以下、一次エネルギー消費等級4を 標準)にして全棟気密測定実施する事としています。

地域型住宅における地域材の活用について

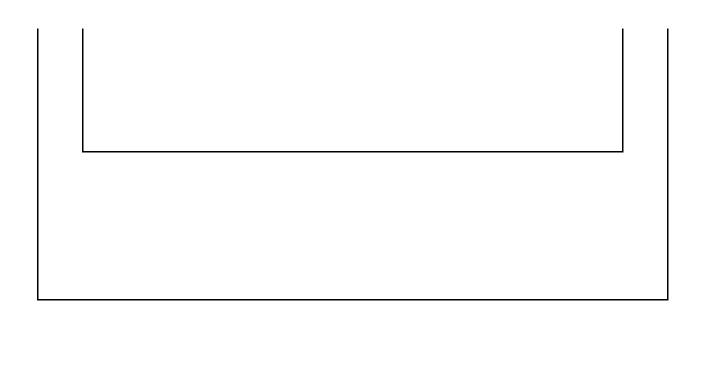
内装材等に群馬県産、合法木材のカラマツ等を積極的に使用する。2次部材においても地域材を積 極的に使用する。「ぐんま優良木材品質認証センター」の認証を受けた群馬県産材か合法木材を使 用する。

引き渡し後の維持管理について

共通維持管理保全計画書を使用し、メンテナンス・手入れの目安とする。

消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

□ 消費者相談窓口がある



1*-1-		レプラン
をナしり	ナナナノ	レノフノ

グループ名称	上毛(かみつけ)の会					
R3採択グループ番号	10	-	0433	-	0153	

F:交付由請におけるRFI	Sの由請書作成及が由請け	どのような方法で行いますか?

	選択項目							
Γ	■ グループ事務局が実施			申請事業者(施工事業者)にて実施	•	外注(外部事業者に依頼)		
Ī		その他						

選択項目							
グループ事務局が実施		外注(外部事業者に依頼)					
その他							

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

	担点する		エネルギ・	エネルギー削減率 主な省エネルギー手法						
No	想定する 地域区分 (1~8)	外皮平均 熱貫流率 (UA値)	全体 R(%)	太陽光発電を除く RO(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含ま れないもの(記述)
1	4	0.4	122	33		8.04				
2	5	0.45	133	31		5.94				
3	6	0.54	140	32		7				
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3).でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

エネルギー削減率		一削減率	主な省エネルギー手法							
No	想定する 地域区分 (1~8)	熱貫流率 (UA値)	全体 R(%)	太陽光発電を除く RO(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含ま れないもの(記述)
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1:導入する省エネ手法をお答えください

		選択項目	
空気集熱式太陽熱利用システム	地熱利用		
その他			

(2)-2:現在の運用をお答えください

	選択項目	
実際の物件に導入している	実際の物件に導入していない	